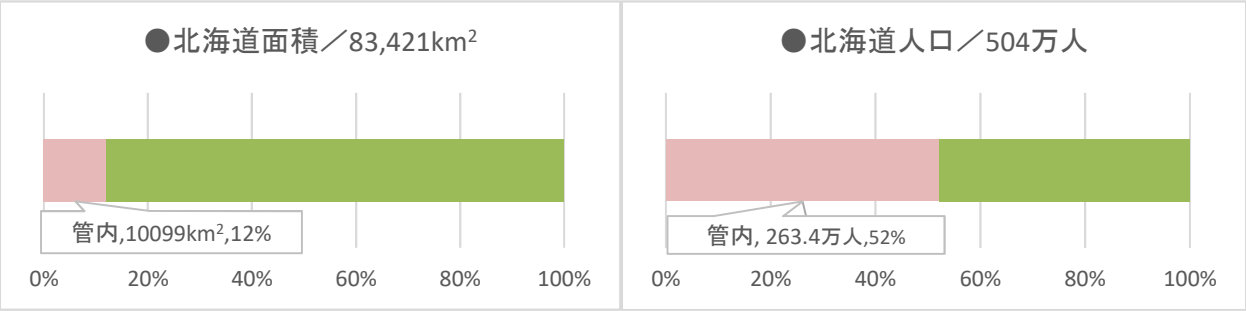
管内概要

札幌開発建設部が担う農業農村整備事業の管轄区域（以下管内）は、道央圏の石狩振興局及び空知総合振興局管内と上川総合振興局管内幌加内町を含む、南北に約200km、東西に約110kmの範囲です。

管内の中央部には、南北に流れる石狩川を中心に広大で肥沃な土壌を持つ石狩平野が広がっています。また、石狩川沿いの平坦部には泥炭土などの排水不良土壌が広く分布していますが、排水改良等の努力を積み重ねたことにより、かつて泥炭湿地であった地域は大規模な農業地帯となっています。

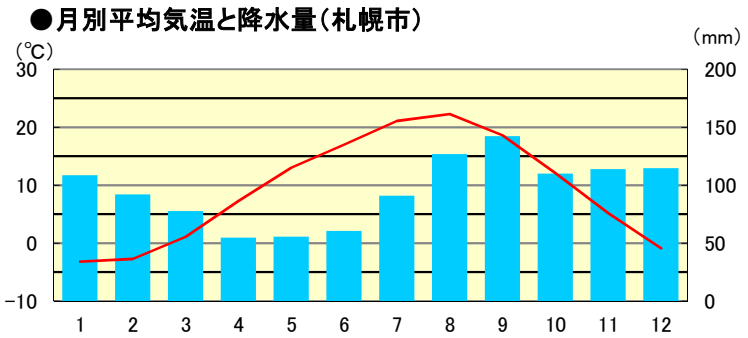
なお、管内の気候は、北海道の中では比較的温暖で、降水量は冬期に集中するため、夏季は湿度が低くさわやかです。しかし、日本海に面していることから冬季は降雪量が多く、札幌の累計降雪量は5m以上にもなります。

人口・面積



資料）人　口：「住基ネットにおける人口【参考値】」（令和6年12月31日現在）」（北海道総合政策部地域振興局市町村課）
　　面　積：「令和6年全国都道府県市町村別面積調（令和6年10月 1日現在）」（国土地理院）
注）　人口及び世帯数には外国人住民を含む。

月別平均気温と降水量



資料：「過去の気象データ検索（1991～2020）年・月ごとの平年値」（気象庁）

※この概要では特に断りのない限り、「管内」には上川管内幌加内町を含む。このため石狩振興局と空知総合振興局の和とは一致しない。